

交通安全教室

5月24日（火）交通安全教室が行われました。トラックと乗用車、バイクと自転車を使って、迫力のある教室になりました。先生は、「自分の身は自分で守らなければいけないので、車の特徴を知り正しい判断ができるようにしましょう」「車の運転は簡単ですが、油断をすると大きな事故になるので、十分注意しましょう」と言っていました。

講師の先生は、大曲自動車学校の竹村さんと高橋さん →



今回の教室のポイントは・・・

視覚



死角



大きな車ほど近くに、白っぽい車ほど大きく見えます。目の錯覚ですね。

運転席の死角の部分ピーラーと言います腕の太さくらいしかありませんが、運転手にとって、死角となります。



乗用車よりも、小さいバイクの方が、制動距離が長い、つまり、止まりにくいです！



体験してみましよう。腕を目の前に立てて見ると、だいぶ視界が狭まります。片眼を隠すとさらに見えません。



乗用車とバイクは、どのくらいのスピードが出ていたと思いますか？



車の後ろはほとんど見えませんね。大型のバスでは、15m程離れなければ、人を確認できません。



少しだけ車を運転してみた朱杏さんとても怖かったです。でも、数ヶ月後には、朱杏さんも自動車免許を取るんだよ。

最後に3年榎くんが、感想と感謝の言葉を述べました。「車が40kmで走行している場合瞬きしている間に11mも進むことに、驚きました。今回勉強したことを、免許取得の時に生かしたいと思います。」

